



SkyLink Ver.12

簡単操作でデータベースを活用

データベースツリーから検索したい表を選択し、検索ボタンを押すだけですぐにデータベースのデータを検索することができます。一度検索した設定・検索条件をコマンドファイルとして保存しておくことで、後からその検索をすぐに行うことができ、マクロ実行などを組み合わせることで定型業務にもその力を発揮いたします。国内のほとんどのデータベースに対応していますので、今お使いのシステムのデータも無駄なくご利用いただけます。

多彩な出力形式

検索結果はCSVやXML形式ファイル等への出力もでき、既に導入済のSkyLink以外のシステムで検索結果を利用することも可能です。

また、Microsoft Excelへ直接出力することもできます。さらに、出力結果に対して事前に加工指定を設定することも可能ですので、そのまま社内会議やお客様への提出資料として利用できます。

多彩な運用方法

外観には、リボンインターフェースを採用していますので、Microsoft Officeとの親和性も向上しています。

Windowsアプリケーションの「SkyLink」の他、Internet Explorer上で動作する「SkyLink Online」、スムーズな業務処理を行うことを可能にする「SkyLink Player」など使用方法に合わせてご利用が可能です。

Microsoft Azure SQL DatabaseやAWS Redshiftなども接続先データベースとして使用可能です。

セキュリティ支援

SkyLinkユーザーマネージャ機能との連携により、ユーザー毎のデータアクセス制御も行うこともでき、アクセスログ管理機能も備えていますので、きめ細かな管理を行なうこともできます。

The screenshot displays the SkyLink application interface. On the left, there is a tree view of databases and tables. The main area shows search criteria for '受注' (Orders) with fields like '受注コード' (Order Code) and '商品コード' (Product Code). Below this is a table with search conditions: '項目名 受注コード', '条件1 >=50', '条件2 AND <=100'. The search results are shown in a table with columns: '受注コード', '商品コード', '商品名', '部門名', '社員名', '単価', '数量', '金額'. The results table lists various orders with their respective details. In the foreground, an Excel spreadsheet shows the search results being exported, with columns for '受注コード', '商品コード', '商品名', '部門名', '社員名', '単価', '数量', '金額'.